

維新の会の市長が提案

# 市民サービスと福祉削る 新年度予算が可決



反対

- 日本共産党
- 吹田新選会

賛成

- 自民党・絆の会
- 民主市民連合
- 公明党
- すいた市民自治
- みんなの未来
- すいた市民クラブ
- 吹田いきいき市民ネットワーク

日本共産党は事業見直しによる痛み押しつけに反対

3月1日から26日まで開催された3月定例市議会では2012年度の一般会計、特別会計当初予算や12月議会から継続となっていた使用料・手数料値上げ条例などが審議されました。

今回の予算は昨秋から始まった「行政の維新プロジェクト」による「事業見直し」で約7億3千万円の福祉予算削減や、市民サービスを支える職員人件費約20億

円の削減が特徴です。市民に痛みを強いて将来展望も与えられないため認められないと日本共産党市議会議員団は反対しました。

市長提案の案件のうち40議案に賛成し12議案に反対しました。

なお今議会から本会議のインターネット放映を始めました。録画質問もぜひご覧ください。



「事業見直し」「使用料値上げ」  
で市民に **激痛**

廃止された事業	福祉巡回バスきぼう号、歳末見舞金、家庭用ごみ袋の無料配布、太陽光発電設置補助など
縮小された事業	グリーンウォーク事業、市民体育祭補助金など

さらに**障害者**には

- 福祉年金の見直しで5028人(約40%)が対象外に
- 障害者団体へのバス貸し付け削減
- 重度障害者を受け入れる作業所への補助金(重度加算)削減でマイナス1800万円
- 特定疾患者給付金を本人非課税に対象者を限定
- タクシー助成を削減

など

さらに**高齢者**には

- 理美容補助など安否確認関連の4事業が廃止・縮小
- 高齢者団体へのバス貸し付け台数を削減
- 介護保険の上限を超えるショートステイへの補助を廃止
- はり・きゅう・マッサージ助成を65歳から75歳に・年間14回から6回に
- 住宅改造助成事業を廃止

など

さらに**子育て世代**には

- 学童保育料を1.5倍に値上げ。しかし老朽施設は改善されず
- 高校学習支援金支給の所得制限が厳しくなり1700人から800人に対象者を狭める
- 小学校3年生の35人学級モデル事業なくす
- 経験のいる学校校務員のアルバイト化と業務の委託をすすめる
- これまで直営だった小学校給食を民間委託する(H24年度は豊一小・藤白小・千里たけみ小)

など